

小規模旅館の挑戦！

「地元の人々と観光客がつながり、集う宿を目指して」

旅館 琴のや

代表 形部正継さん



代表 形部正継さん

新たなスタートを切った旅館 琴のや

平成24（2012）年7月にリニューアルオープンした旅館 琴のや。同年3月に廃業となった旅館を、現在の代表である形部正継さんが引き継ぎました。形部さんは、それまで16年間にわたって丹後・夕日ヶ浦温泉の旅館に勤務し、料理長や支配人の経験を知る人から、「琴のやの経営をやってみないか」と声を掛けられたことがきっかけだったそうです。「旅館は昭和43年からこの場所にある、地域の方々の中にはここで披露宴をされたという方もいらっしゃいます。その後、観光客の受け入れに注力するようになったこともあり、地域の方々足を運ぶ機会が減ってしまったのですが、愛着のある存在であることには変わりはありません。そうした話を伺っているうちに、このまま灯りを消してしまうのではなく、旅館として存続させることが、地域の人々にとってもプラスになるのではと考えました。」

引き継ぐことを決意した形部さんが目指したのは、「地域に根差した旅館」です。「旅館として一番大事なことは、地域に根差すことです。地域の方に『あそこがいいよ』と紹介してもらえるような、愛される旅館になるための活動が必要だと考えています」。応援ファンド支援事業に申請する際には、「地域と観光客がつながり、集う宿」をテーマに掲げ、より魅力的な旅館になるための事業とともに、コミュニティの集積場としての機能を果たすことを目的とした事業を盛り込みました。

地域に根差し、年間を通じて稼働する旅館に

リニューアル事業としては、地元の人々にとって馴染みのある建物はそのままに、まず旅館としてのサービス面における充実・改革や内装の模様替えに着手しました。冬以外も稼働することを目的に、料理長としての経験を活かしながら四季折々の新鮮な地魚を使ったメニューを開発し、年中プランも作成。そうした料理やプラン、大きなアピールポイントである大海原の絶景を望める立地といった魅力を明確に伝えるために、新たにパンフレッ



丹後半島の秋の味覚の一つ、高級魚のどぐろの煮つけ

観光資源の活用



レストラン入口の、丹後ちりめんを使った手作り暖簾

トを作り、ホームページを立ち上げ、フェイスブックを通じた情報発信も開始しました。また、ロビー横のラウンジに椅子とテーブルを設置してレストランとし、高齢者の方も快適に食事ができるよう、宿泊客の食事の場を宴会場からレストランに変更。さらに、源泉を持つ近くの旅館の協力を得て、お風呂を温泉にしました。

館内の随所に配された丹後ちりめんを使った装飾も、形部さんのこだわりの一つです。「女将のお母様から頂いた着物を暖簾にしたり、機屋さんから譲っていただいた道具を客室のキーホルダーに活用したり…。地元の方々にご協力をいただいて、地場産業である丹後ちりめんに触れられる館内を創り上げることができました」と形部さん。こうした取り組みが実を結び、リニューアルオープン以降、リピーター客が着実に増えています。

地域の人々による利用が倍増

旅館業の充実・改革と併行して、地元の交流拠点となるための取り組みにも注力しました。24年秋には、レストランスペースを使って、丹後地方の郷土料理・ばらざし作り体験などのイベントを企画。ばらざし作り体験には、「作り方をきちんと習いたい」といった女性をはじめ、幅広い世代が参加しました。昔の琴のやの写真を持参された方もいらっしゃって、形部さんにとっては、ここの歴史を知る貴重な機会ともなったそうです。

同時期に新聞の折り込みチラシなどを通じて、温泉利用の促進も図りました。今では、気が向くと温泉に浸かりに足を運ぶ常連客もいるほどです。温泉の利用を機に入浴後の食事や宴会で利用する人も増えており、地元の人々にとって琴のやが、徐々に、特別の日や日常のひとときを過ごす場の一つとなりつつあるようです。「座敷でも使える椅子とテーブルを使った“足楽宴会”は好評です。何より、気軽に足を運んでいただけるようになったことが何よりうれしいですね。2年目は、地元の方々の利用が1年目に比べて倍増しました」と、形部さんも大きな手応えを感じています。



水平線に沈む美しい夕陽を望めるレストラン



地元の老若男女が集ったばらざし作り体験

地域振興に向けた活動も推進中

「お客様に多いのが、2世代、3世代の家族連れです。そうした方々が皆で楽しめる“親孝行のできる宿”を目指したいですね」と語る形部さん。現在はその一環として、地域の旅館などと連携し、新たなサービス「漁師体験」の展開に向けて奔走しています。これは、観光客や地元民が自ら旅館に面した岩場などに下りてウニやサザエなどを獲り、バーベキューを楽しむというもの。廃校された小学校を活用した、丹後地域ならではの海鮮料理を提供するレストランも構想中です。

「旅館の集客策の一つにとどまらず、地域資源の高付加価値化や雇用創出など、まさに地域資源を生かした観光振興につながると考えています。乗り越えるべき問題は少なくありませんが、大切なのは諦めないこと。強い思いを持ち続け、これからも継続的に、地元の人々と共に地域振興に取り組んでいければと思っています」。

事業概要

旅館 琴のや

http://tango-kotonoya.com

代表：代表 形部 正継

業種：旅館業

創業：平成24年4月

住所：〒629-3111 京丹後市網野町三津292番地

TEL：0772-72-1720